

ご挨拶

2018年4月29日

福高ヨット部 OB・OG 会 会長 石橋眞一

福高ヨット部 OB・OG 会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

去る4月25日に福岡市天神・平和楼にて総会が開催されました。最年長5回山本先輩、9回栗川先輩の参加を得て、30回白垣事務局長の司会のもと和気あいあいとした雰囲気が進められました。現役新人もすでに4名が入部して元気な顔を見せてくれました。また魚貝類養殖指導のため JICA よりサモアへ派遣されていた23回真崎君が2年半ぶりに帰国し、その翌日の総会に駆けつけてくれました。サモアでの生活やセーリングなど興味深い話に、場が大変盛り上がりました。

今総会では最重要案件として会費の値上げ（社会人のみ5千円アップして1万5千円とする）が事務局より提案され承認されました。本提案は、当会が昨年度財政的困難に直面したことがきっかけとなっています。最初の問題は嬉しい誤算でもありましたが、現役が県大会で常勝中村三陽高校の一角に食い込み2位となり、沖縄・九州大会に進出したことに伴うコーチ陣の遠征費問題です。この問題は18回北本君の発案と活動で、OB有志のカンパにより乗り切ることができましたが、現状の会費収入では県大会までしかサポートできていないほか、各種強化レース参加支援のための費用不足という課題が残りました。

次の問題は、レスキュー艇が重大な故障に見舞われ大修理が必要となったことです。本艇は、3年前に中村三陽高校より無償提供を受けたものの、船齢14年なので今後のことを考えると修理するか廃棄するか逡巡いたしました。マリノアのメカによれば、漁船仕様なのできちんと手入れしていけばまだまだ十分使えるとのこと、修理に踏み切った次第です。53万円強の費用が発生しましたが、会費納入数の増加や過去に頂戴していた寄付金の引当て等々で、何とか手当てすることができました。

こうした事態を受け、執行部にて今後の持続的な運営についてさんざん議論をした結果、会費納入数増の働きかけを継続することと合わせて、会費値上げの提案に踏み切った次第です。OB・OG 諸氏におかれましては、どうか状況をご理解いただき、引き続きのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

今年度は、23回豊原君から31回廣島君に監督が交代し、新たな体制で現役活動がスタートしました。豊原君は引き続きコーチとして新監督をバックアップしてくれるとのこと、有難いことです。現役の眼も輝いています。林コーチによれば、今年は全日本出場間違いないとのことですが、全日本のコーチ遠征費用は予算化されておらず課題として残ります。県大会は5月下旬小戸にて、九州大会は6月中旬宮崎にて、全国大会は8月中旬和歌山にて開催されます。また、16回下村・18回木下・21回齋田組が6月琵琶湖での全日本A級ディンギーに、29回中村君が全日本スナイプ級に挑戦とのこと健闘を大いに期待しています。

末筆ではありますが皆様のご健勝ご活躍を祈念致します。

以上